

# 潮音

あかるく 礼儀正しく のびのび行動する子ども  
やさしく みんなを大事にし 力を合わせる子ども  
かしこく 進んで学び 正しく判断できる子ども  
やりぬく よく働き 最後まで頑張るたくましい子ども

## 学校教育目標

### 「教育のデジタル化」を進める上で大切にしたいこと

白糠小学校 校長 滝川 敦善

先日、低学年の算数科の授業『水のかさ』の学習活動を参観しました。児童が、1. 5Lの2つのペットボトルに入った色水を、小さなコップに入れ替えて量り、どちらが何杯分多いのかを比べる学習です。ペットボトルの重さや見た目の量、容器の形などをもとに、どちらが多いかを予想したり、実際に量ったりしています。「こぼさないようにゆっくり入れてね。」「やっぱり緑色の水の方が多かった！」など、様々な声が聞こえてきます。低学年において量的な概念を学ぶときには、このように五感を使った学習が大切にされます。



「どちらが何杯多い？」

さて、先日、各家庭に『感染症等の発生により、学級、学校閉鎖の措置がとられた場合の児童の学習について』を配布させていただきました。これは、臨時休校や学級閉鎖になったときでも、オンラインで家庭と学校をつなぎ、画面を通して学習を継続していくためのマニュアルです。もちろん、1日いっぱいオンライン授業を行うのではなく、休み時間や適度に自主学習の時間を入れながら、できるだけ学校での生活リズムを崩さないスケジュールとしました。しかし、実際に学級閉鎖等によりこのマニュアルに沿って実施した場合でも、うまく繋がらなかったり、画面が止まったりすることも予想されます。この取り組みは、あらゆる事態を想定し準備万端整えてスタートするのではなく、子ども達の様子や学校、家庭の環境に応じ試行錯誤しながら「よりよい教育環境を整備していくこと」が重要と考えていますので、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

全国的に「デジタル教科書の活用」「オンライン授業・ライブ授業の実施」「タブレットの家庭への持ち帰り」など、「教育のデジタル化」が進んでいます。本校でも、タブレットの貸し出しの環境を整えて、冬休みには家に持ち帰り、子ども達が家庭でもタブレットを学びの道具にしていけるよう準備を進めています。

一方で、子どもの視力の低下をはじめとする健康への影響や、さらなるネット依存やネットトラブルなどが危惧されています。デジタルの教材や教具は、あくまでも道具ですから、正しい使い方、安全な使い方を習得させたいうえで使用させることが求められています。子どもの健やかな成長を育む視点で、教育効果が高まる手段は何かを見定め、子ども達が安全に、そして、効果的に活用できるよう指導してまいります。

また、教育のデジタル化と同様に重視されるのが五感を使った体験活動や読書活動などです。上述の「水のかさ」の学習のように、ものの量感や質感を学ぶ学習は、やはり実際にやってみることで、体験することが一番です。理科の実験や本校のふるさと教育なども、目で見たり、話を聞いたり、においをかいだり、実際に体験（実験）したりすることを重視しています。「読書」のように、活字を自分の目で追いながら、空想の世界を広げ、登場人物に共感する経験なども、特に義務教育段階の子ども達には重要な経験の1つです。

昨年の学校だよりにも記しましたが、教育のデジタル化が時代の要請である「流行」とすると、体験活動や読書活動はいつの時代でも大切にしたい「不易」ととらえることができます。本校では、子ども達に身につけさせたい力を明らかにして、「不易」と「流行」をバランスよく取り入れ、将来にわたり豊かに生きていくための基礎的な力をしっかり育てていきたいと考えています。

月日	曜日	日課表	生活	10月行事
1	金			安全点検日 校舎外清掃 視力検査5・6年
2	土			
3	日			
4	月			全校朝会 視力検査1・2年 ECクラブ6年
5	火			宿泊研修5年
6	水			宿泊研修5年
7	木	変則		5年生振替休業日
8	金			社会見学2年 視力検査3・4年 フィールド生来校
9	土			
10	日			
11	月		ウてくてく & 遅刻0	二計測5・6年 色覚検査1・4年 ECクラブ2年 自主学習キャンペーン
12	火			二計測3・4年
13	水			二計測1・2年 避難予備訓練 ノーゲームデー
14	木	変則		児童委員会 ECクラブ1年
15	金			
16	土			
17	日			
18	月			ECクラブ5年
19	火		月チャレ週間	
20	水			児童朝会 社会見学4年 スクールカウンセラー来校
21	木	変則		クラブ 読み聞かせ1・2年 ECクラブ3年
22	金			防災学習 フィールド生来校
23	土			
24	日			
25	月		てくてく & 遅刻0	
26	火			
27	水			スクールバス指導
28	木			通常時程 ECクラブ4年 人権教室
29	金	変則		児童委員会(中学校生徒会来校) フィールド生来校
30	土			
31	日			

学校HPへ



# 野外レク

遠足に代わり「野外レクレーション」を実施しました。各学年で行先を決め、例年より短い時間ではありましたが、実施することができました。

1年生・2年生・4年生の行先は「逍遙公園」でした。とても天気がよく、体いっぱい動かした野外レクでした。

3年生・5年生・6年生の行先は「学校近くの海岸」でした。海に入ったり、砂で遊んだり、こちらも楽しく過ごすことができました。

新型コロナウイルス感染症の影響でお弁当やおやつを食べることができませんでした。今後も、可能な行動制限のもと、行事を実施していかなくてはなりません。そのような環境でも、思い出に残るような教育活動を進めていきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



# 防犯教室

白糠町役場地域振興係の職員と釧路警察署生活安全課の職員が来校し、「防犯教室」を行いました。緊急事態宣言が発令中であったため、視聴覚教室と教室をオンラインで繋ぎ、視聴覚教室で参加する学年と教室で参加する学年に分かれて実施しました。

低学年には、登下校の危険について説明がありました。歩道の歩き方や自転車の乗り方、不審者に会わないためにはどう行動したらよいかなどを考えました。昨年は100件の通報があり、不審者からの声掛け事案があったそうです。

高学年には、留守番の時に気をつけることやスマートフォンの正しい使い方について説明がありました。留守番では「玄関や窓のカギをかけること（不審な人に会わない）、「電話がかかってきたときの対応（電話に出ないなど、おうちの人と確認しておく）」ことが大切であると話されました。また、警察署の職員からはスマートフォンの正しい使い方と危険性等について話がありました。事例を交えて話していただき、子どもたちは、身のまわりの様々な危険について考えることができました。「安全なSNSの使い方」を身に付ける必要があります。今回学んだことを、生活に生かしてほしいと思います。

【スマホの約束】～釧路警察署より～

- ・利用目的、使い方を決める
- ・個人情報や悪口を書き込まない
- ・あやしいメールは無視する
- ・夜の使用時間を決める
- ・困ったときは必ず親に相談する
- ・何かをしながらの電話はしない
- ・ルールを破ったら使わない



# 教育実習終了

8月20日（金）から始まった教育実習が9月17日（金）に終了しました。二人の教育実習生は毎日、笑顔で子どもたちに接し、生き活きと授業を行っていました。子どもたち一人一人に「わかった」「できた」という喜びを感じてもらおうよう、教材研究を深める姿がありました。一単位時間の効果的な進め方やICTを使った授業を実践し、今すぐにでも教壇に立つことができるほど、素晴らしい学生でした。

数年後には間違いなく担任として教壇に立つことでしょう。

この数週間の貴重な経験を生かして夢に向かって羽ばたいてほしいと思います。

小石川先生、千葉先生、ありがとうございました。

8月20日から白糠小での実習が始まりましたが、あっという間に感じました。それは児童の皆さんと一緒に勉強したり、遊んだり、先生方からの温かい支援があったりしたからだだと思います。この4週間、大変貴重な時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。 小石川 幹

先生方にも児童の皆さんにも温かく迎えられ、支えられて、無事に実習をやり遂げることができました。大学でも、白糠小学校で学んだことを忘れず、勉強を頑張ります。本当にありがとうございました。 千葉 愛

# 通知票発行

本日、通知票を発行しました。お子さんの学習や生活面の様子等を記述しています。ぜひ、お子さんの頑張りを認め、励まし、これからも引き続き、支援をお願いいたします。

